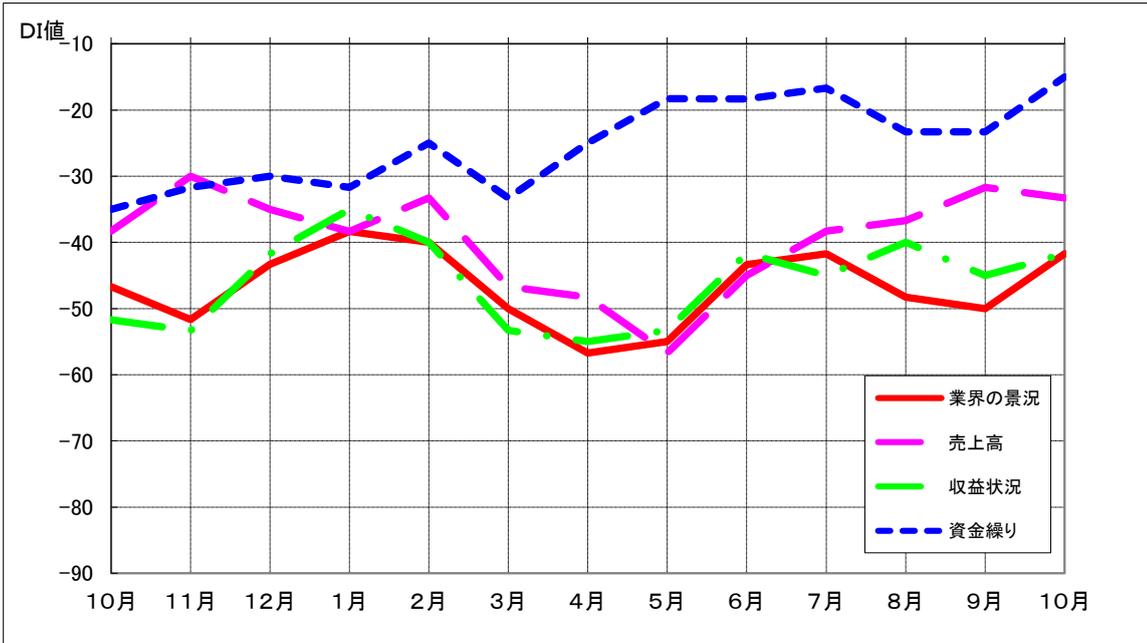


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年10月～平成23年10月

単位:ポイント



	H22			H23									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0	-43.3	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7
売上高	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7	-45.0	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3
収益状況	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3	-41.7	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7
資金繰り	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0

○10月のDI値は前年同月と比べると、全項目で改善した。「業界の景況」DI値は5ポイント、「売上高」DI値は5ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント、「資金繰り」DI値は20ポイントそれぞれ改善した。前月比でみると「業界の景況」DI値で8.3ポイント、「収益状況」DI値で3.3ポイント、「資金繰り」DI値で8.3ポイント改善したが、「売上高」DI値は1.6ポイント悪化した。製造業においては受注の減少、非製造業では販売不振等の声が聞かれた。海外の経済状況、円高等の影響を受けて先行きの見通しが立たない状況が続いており、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている。

○組合の特記事項からは、業況が回復傾向に向かいつつも不況感からは脱し切れておらず、苦しい状況が続いているとの声が出ている。製造業では、食料品、木材・木製品、鉄鋼・金属の一部業種で業況の安定化が見られるもののその動きは弱く、回復傾向には至っておらず苦戦しているとの声がある。また、一般機器ではタイの洪水被害の影響を懸念する声がある。非製造業では、商店街、サービス業の一部でイベントの開催によって一定の集客があったと述べる声が出ている。また行政庁・中央会に対する要望事項として、TPPより円高及びデフレへの対策の必要性を述べる声があった。